

大学院博士前期課程を修了し修士の学位を取得される皆さん、そして経済学部、人文学部、社会学部を卒業し、学士の学位を取得される皆さん、修了、卒業誠におめでとうございます。

また、今日まで学生の皆さんを支え、見守ってこられたご父母をはじめとする関係者の皆様に対しても、お祝いを申し上げます。

花の蕾も日増しにふくらみ、開花の時節を迎えようとしている本日、ご来賓各位のご列席の下、大学院学位授与式・卒業式を挙行できますことは、私達教職員にとっても大きな喜びであります。

さて、皆さんのなかには四月以降もさらに勉学を続ける人もいますが、多くの人は、小学校入学以来の長い学校生活を終えて、社会に出ていきます。皆さんがそのなかで生活し、また一人の社会人として支えていく将来の社会は、どのようなものとなるのでしょうか。この問いに確実な解答を示すことは、おそらく不可能でしょう。少し長い期間をとってみれば、社会は事前の予想を許さない変化をとげるものです。

例えば今から百年前、すなわち一九一四年の春に、数か月後に起こるサラエボ事件をきっかけとして人類初の世界大戦が勃発することを、そして私たちの社会の在り様がその後大きく様変わりすることを予測できた人はいなかったでしょう。また、五十年前、すなわち一九六四年の春、半年後に迫った東京オリンピックの開催や新幹線の開通を待ち望んでいた当時の日本で、オイルショック以降の経済の変化やバブル経済とその崩壊、インターネットをはじめとする情報通信技術の目覚ましい発展などを予想できた人がはたしていたでしょうか。

皆さんがこれからそのなかで過ごす社会も、今後大きく変化していくことでしょう。人口統計学によれば、発展途上国における人口増加によって世界人口が現在の七十二億人から二〇五〇年には九十六億人に増加する一方で、日本では高齢化が進み二〇五〇年には高齢化率が四割近くに達することとなります。また、情報通信技術の革新に加えて、生命科学の分野で著しい進歩がみられる一方で、地球環境問題の解決の道筋は見えてきていません。これらのことは、グローバル化の進展などとともに、今後私たちの社会が現在では想像できないような新たな変化を遂げていくことを予感させます。

私は、こうした変化していく社会のなかで、皆さん一人ひとりが、社会の変化を的確に把握し、付和雷同することなく、社会を担う一員としてどう行動すべきかを自身で判断していくことを望みます。そしてそのために、自ら情報を分析し、自ら考える力を今後も育てていくことを願っています。

皆さんのこれからの社会生活では、自分の希望が実現し物事が順調に進むときもあれば、皆さんの努力が十分に報われなるときもあるでしょう。これは、組織などの中で他の人々とともに行動する以上避けられないものともいえますし、また予期できない運不運というものもあります。しかし、皆さんが自分自身を成長させるために行う努力は、皆さんを決して裏切りません。学び続けること、視野を広げ見識を深め、自

分や他の人々を思いやり理解する力を育てる努力をすることは、着実にそして確実に皆さん自身を成長させます。

皆さんはこれまで、学校という場にあつて、学ぶことを当然のこととして行つてきましたし、学ばざるを得ない環境のもとにあつたともいえます。そうした学校生活は本日のこの式をもつて終わるかもしれません。しかし、社会に出てからも、学び続けて下さい。日々の生活のなかで自然にさまざまなことを身に着けるといふだけでなく、意識的に、積極的に学び続けて下さい。そして冷静な思考力と深い見識を具え、変化しつづける今後の社会において社会人としての責任を果たし得る人物になつて下さい。

そして皆さんは、学校という場を離れても、自ら学び続けることができはずです。なぜなら、武蔵大学は、その前身である旧制武蔵高等学校以来の「建学の三理想」を受け継ぎ、「自ら調べ、自ら考える」力を育てる教育を重視し、皆さんはゼミナールなどでの勉学を通じてこの力の基礎をしっかりと身に着けたはずだからです。

さて、四月以降、学生から同窓生へと立場は変わりますが、皆さんがこれからも武蔵フアマミリーの一員であることに変わりありません。社会では多くのすばらしい先輩が各分野、各地で活躍しており、同窓会の活動も活発に行われています。また来年以降、後輩たちも同窓生の仲間に加わってきます。今後はこうした同窓生との絆を太いものとしていって下さい。そして、出来るだけ多くの機会にこの大学のキャンパスを訪れ、懐かしい皆さんの顔を後輩や教職員に見せて下さい。

最後に改めて卒業おめでとう。

伝統ある武蔵大学の卒業生であることを誇りに思い、皆さんの輝かしい未来にむかつて元気に進んで行って下さい。

以上をもって私からの式辞と致します。

平成二十六年三月二十二日

武蔵大学長 清水 敦